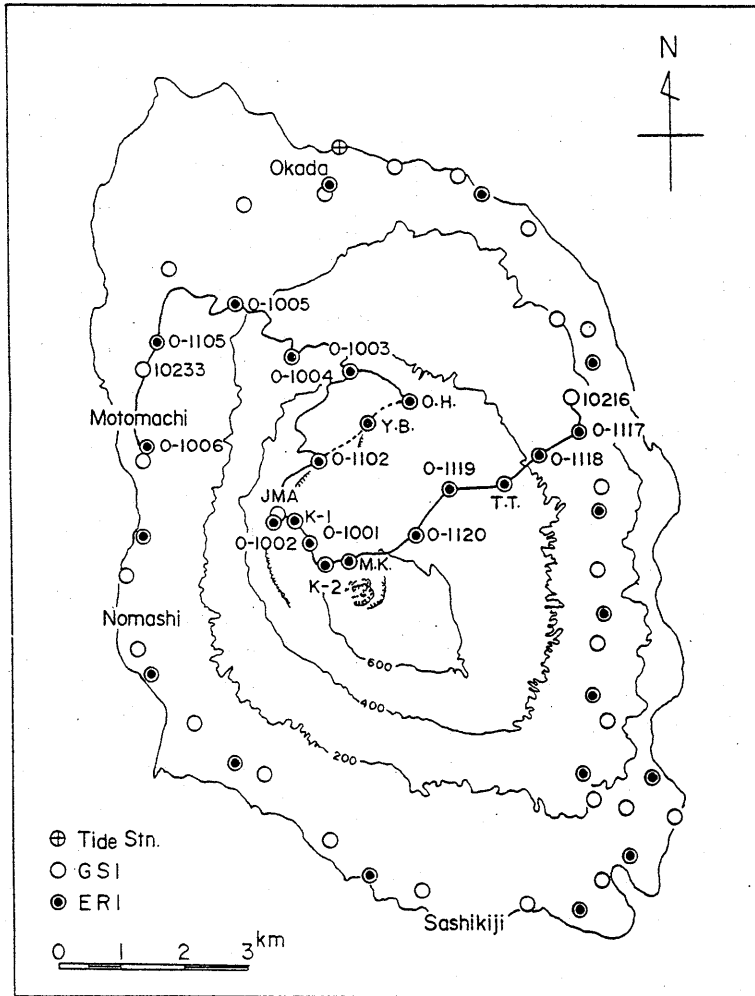


伊豆大島における水準測量*

東京大学地震研究所

東京大学地震研究所は、伊豆大島に水準測量路線を設け、1954年以降1974年までの間に4回¹⁾の水準測量を実施した。その結果については既に本会報に報告してある。これらの測量は、主として大島西側山体



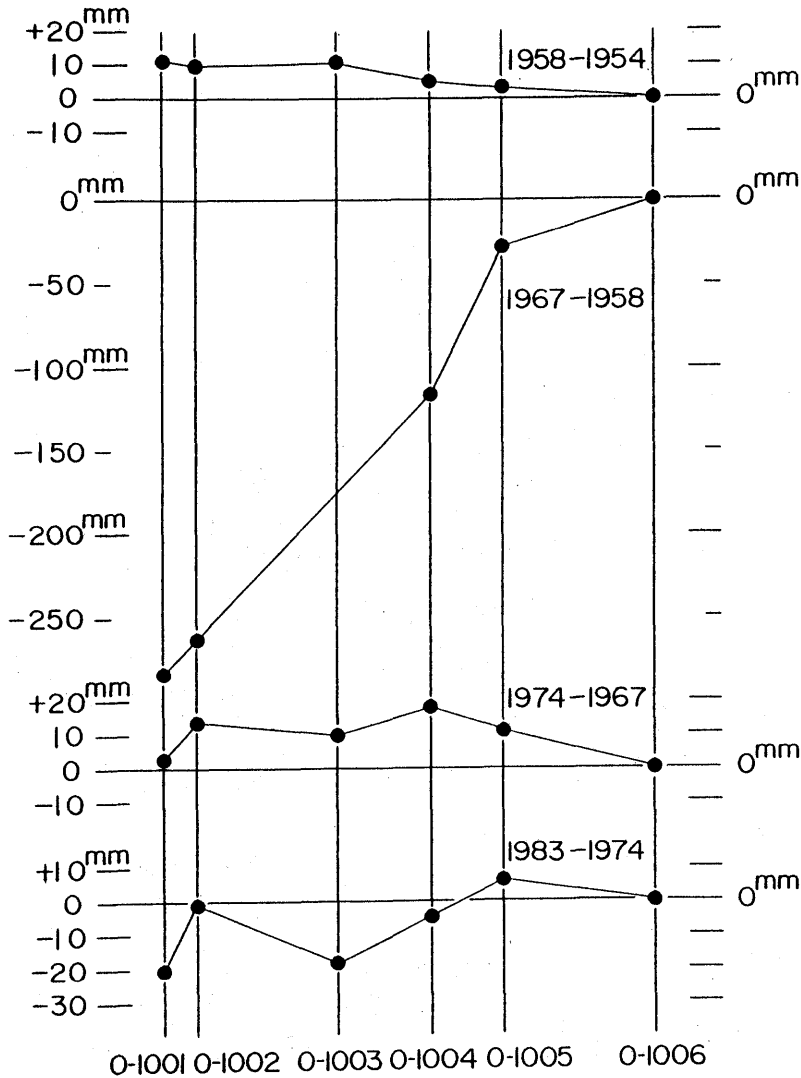
第1図 伊豆大島火山山体部の水準測量路線(実線)

Fig.1 Location of the levelling route (full Line) on the Izu Oshima volcano.

* Received Apr. 25, 1985

の上下変動に関するものであった。

1982年に大島の東側周回道路より、三原山火口縁に至る水準路線（BMは1979年設置）の測量を行った。翌1983年には西側より火口縁に至る測量を実施し、山体横断の測量を完成させた。測量実施水準路線を第1図に示す。同図中、BM0-1117よりMKに至る路線測量は、1982年実施の一回だけである。BM0-1006より0-1001に至る区間については、前回測量との比較が可能である。過去に得



第2図 水準点0-1006(元町)より水準点0-1001(カルデラ内)に至る路線の水準点高さ変化(水準点0-1006を不動とする)

Fig.2 Change of height of the Bench Marks on the route from 0-1006(Motomachi) to 0-1001(inside of Caldera). (BM 0-1006 were fixed)

られた結果とともに、1974年より1983年5～6月の間の変化を第2図に示す。BM0-1006(元町)を不動とした場合、1983年の測量によっては、とくに目立った変化は認められないが、僅かに山体沈降の傾向を示しているといえる。

参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所(1974)：伊豆大島における地殻変動測定，噴火予知連会報，**1**，21-26.